

令和5年度

決算特別委員会

9月

9・11・12日

町民ホール

令和5年度の予算（一般会計、5特別会計、1企業会計）がどのように使われ、どのような効果があったか審議するため、決算特別委員会が設置された。委員長に須藤典夫委員、副委員長に中村忠行委員を互選し、丹洋一代表監査委員から各会計決算審査後の意見、留意事項等の説明を受け、委員長を除く9名の委員が質疑を行った。全会計の決算については、全員賛成で認定された。



須藤典夫 決算特別委員長

令和5年度各会計決算提出議案

各会計決算状況 ～全員賛成で認定される～

議案番号	会計名	歳入決算額	歳出決算額
議第69号	一般会計	50億1824万円	46億9976万円
議第70号	国民健康保険特別会計（直診勘定）	2億4790万円	2億3072万円
議第71号	介護保険特別会計	8億3788万円	7億7906万円
議第72号	後期高齢者医療特別会計	6998万円	6856万円
議第73号	農業集落排水事業特別会計	9905万円	9555万円
議第74号	公共下水道事業特別会計	1億8437万円	1億7626万円
議第75号	水道事業会計（収益的収支）	1億9151万円	1億7961万円
	水道事業会計（資本的収支）	4000万円	1億1105万円

決算審査意見



丹洋一 代表監査委員

一般会計並びに6特別会計の歳入歳出決算書、実質収支に関する調査は、法令に準拠して作成されており、決算計数は、関係帳簿及び証拠書類と照合した結果、誤りなく適正と認めた。
主な財政指標では、経常収支比率は90.6%となり、前年度と比較し3.1%上昇している。要因としては、地方交付税が減額したこと及び人件費、グリーンパレーン神室施設の指定管理料や光熱水費等の物件費の上昇によるものであり、令和6年度においても物価の高騰は続いているため、令和6年度の決算にも影響すると予想される。実質公債費比率は9.4%、将来負担比率は算定されておらず、財政健全化比率について問題はない。
また、財政運営基金残高は約1億7千万円増加し、全会計で約2億6千万円増加している。常に長期的に標準財政規模の5%以上の額を堅持していただきたい。

米価に対する町の対応は

宮林聡志委員

問 今年の米価が提示され値上がりしている状況である。農家への施策は。

答 産業課長 米価が上がれば農家の収入が上がりホッとしている。昨年度は資材や燃料費の高騰に対し農業緊急支援対策事業者補助金で対応した。農家を支援して離農や耕作放棄地の発生を抑制するため、今後の動きに併せ適切な対策をしていく。

続く物価高騰に対応



令和6年産米の出荷

連合婦人会が抱える課題は

五十嵐優一委員

問 連合婦人会の組織体制は。また、事務局を行政で担うことはできないか。

答 教学課長 加盟地区は8地区で、令和元年に200名を超えていた会員は昨年度130名を割った。団体との意見交換会で事務局を行政にという要望があったが、現在の職員体制では難しいと感じている。



連合婦人会防災学習会

林業従事者の確保策は

大場洋介委員

問 森林経営管理制度の取り組みに緑の雇用などの支援制度を活用し、林業に就きたい人に金山で知識や技術を学んでもらえるようPRをするべきでは。

答 産業課長 町の基幹産業である林業において重要な役割を持つ金山町森林組合も緑の雇用で募集し、今年度1名を正式に雇用した。農林専門職大学の研修生の受け入れており、雇用拡大につなげたい。今後も森林組合と相談しながら町の役割を見出していきたい。



農林大学在校生徒のインターンシップ